

様式第 9

平成 2 8 年度循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
北秋田市地域	北秋田市	平成22年4月～平成27年3月	平成22年4月～平成27年3月

1 目標の達成状況

(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (平成23年度)	目標 (割合※1) (平成27年度) A	実績 (割合※1) (平成27年度) B	実績B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	2,580t	2,453t (-4.9%)	2,767t (7.2%)	112.8%
	1 事業所当たりの排出量	1.19t	1.13t (-5.0%)	1.51t (26.9%)	133.6%
	家庭系 総排出量	9,052t	8,176t (-9.7%)	8,905t (-1.6%)	108.9%
	1 人当たりの排出量	249.4kg/人	240.9kg/人 (-3.4%)	259.8kg/人 (4.2%)	107.8%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	11,632t	10,629t (-8.6%)	11,672t (0.3%)	109.8%	
再生利用量	直接資源化量	199t (1.7%)	7t (0.1%)	775t (6.6%)	11,071.4%
	総資源化量	1,788t (16.0%)	1,591t (15.6%)	1,505t (12.9%)	94.6%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	-MWh	-MWh	-MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	6,831t (58.7%)	6,994t (65.8%)	8,028t (68.8%)	114.8%
最終処分量	埋立最終処分量	2,087t (17.9%)	1,628t (15.3%)	1,891t (16.2%)	116.2%

※1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成21年度)	目 標 (平成27年度) A	実 績 (平成27年度) B	実績B /目標A	
総人口	37,846人	33,939人	33,912人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	10,142人	12,880人	17,053人	132.4%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	26.8%	38.0%	50.3%	132.4%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	6,009人	5,979人	6,264人	104.8%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	16.0%	17.6%	18.5%	105.1%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	4,366人	3,895人	4,244人	109.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	11.5%	11.5%	12.5%	108.7%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	17,269人	11,185人	6,351人	56.8%

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績	
発生抑制、再使用の推進に関するもの	11	直接搬入ごみ量の削減	北秋田市	<ul style="list-style-type: none"> 啓発活動の推進 小売業者への協力依頼 	H25～H26	市広報や出前講座において、クリーンリサイクルセンターへの搬入状況を報告し、3R推進・ごみの減量化及び適正分別排出を呼びかけた。	
	12	資源ごみ分別の徹底	北秋田市	<p>広報誌・廃棄物減量等推進審議会等を通じた啓発活動により、各種資源ごみの可燃ごみ・不燃ごみへの混入を防止するとともに、収集形態（指定ごみ袋）の検討により住民に対する金銭的メリットを与え分別収集への協力推進を図ることとする。</p>	H25～H26		
	13	啓発活動の強化	北秋田市	<ul style="list-style-type: none"> 市広報等を活用したごみの現状等の啓発 生ごみ堆肥化等各種講習会の実施 	H25～H26		
	14	学校教育等を通じた啓発	北秋田市	<ul style="list-style-type: none"> 学校単位での廃品回収の実施 廃棄物処理施設の見学 校外清掃の実施 減量化ポスターコンクールの実施 	H25～H26		<p>廃棄物処理施設の見学 平成25年度：13校（小学校） 平成26年度：12校（小学校）</p>
	15	家庭ごみの有料化	北秋田市	<ul style="list-style-type: none"> 有料化について住民の理解を得る 価格設定根拠の検討 資源ごみ収集方法の検討 	H25～H26		有料化導入については、慎重に検討することとした。
処理施設の整備に関するもの	1	合併処理浄化槽整備	北秋田市	<p>浄化槽設置整備事業及び浄化槽市町村整備推進事業により、合併処理浄化槽の整備を進める</p>	H22～H26	5人槽31基、7人槽30基、10人槽2基合計63基の整備を実施した。	

施設整備に係る計画支援に関するもの	31	H27年度以降実施予定のエネルギー回収推進施設整備事業の計画支援	北秋田市	ごみ処理施設整備事業に係る基本設計等調査事業	H25～H26	完了
その他	41	不法投棄防止対策	北秋田市	不法投棄防止に向けた施策、環境監視員によるパトロールの強化、立看板の設置、広報紙による注意・喚起を行い不法投棄の防止を図る。 また、不法投棄の撲滅に向け、関係機関と対策会議を開催し、連携を図る	H25～H26	24名の不法投棄監視員によりパトロールを行い、廃棄物の状況に応じ、保健所や警察と連携して回収処理を行った。 不法投棄巡回報告件数 132件 不法投棄廃棄物発見件数 70件

3 目標の達成状況に関する評価

<p>地域計画期間内において、北秋田市では、エネルギー回収推進施設整備の計画支援業務及び合併処理浄化槽の整備を実施した。</p> <p>(ごみ処理)</p> <p>○排出量 平成27年度の総排出量は平成23年度に比較して約0.3%の増加であり、平成27年度目標値の対平成23年度比-8.6%を達成できなかった。内訳としては、事業系総排出量が7.2%増加、家庭系総排出量は1.6%減少であった。</p> <p>○再生利用量 平成27年度実績では、同年度目標値に対して-86 t、総排出量に対する割合-2.7%と目標を達成できなかった。なお、直接資源化量が平成27年度実績で同年度目標値に対して約110倍になってことについては、目標設定時（平成24年度）における集計方法では古紙類を含めなかったが、平成27年度では、古紙類を含める集計方法に変更したことによる。</p> <p>○減量化量 中間処理における減量化は8,028 tで、総排出量に対する割合は68.8%となり、平成27年度目標値を1,034 t 上回る減量化を図ることができた。</p> <p>○最終処分量 平成27年度の最終処分量は、平成23年度と比較して196t減少してきており、総排出量に対する割合も1.7ポイント減少しているが、平成27年度目標値を達成することはできなかった。</p>
--

(生活排水処理)

○合併浄化槽整備について

汚水衛生処理人口、汚水処理人口普及率とも平成27年度目標値を達成している。今後も未処理地域での整備を進め、生活環境衛生の向上を図っていく。

(都道府県知事の所見)

排出量については、家庭系ごみは減少傾向にあるものの、事業系ごみは増加しており目標を達成していない。市民や事業者に対する排出抑制の更なる普及啓発により、排出量削減に努めていただきたい。

再生利用量については、総資源化量及び排出量に対する割合のいずれも平成23年度より減少しており目標を達成していない。市民や事業者に対する分別徹底に向けた普及啓発の取組の強化に努めていただきたい。

減量化量については、中間処理による減量化量及び排出量に対する割合のいずれも目標を達成している。

最終処分量については、埋立最終処分量及び排出量に対する割合のいずれも平成23年度より減少しているものの、目標の達成には至っていない。排出量削減及び再生利用量増加の取組により、最終処分量の削減が期待される。

合併処理浄化槽等の汚水衛生処理人口は目標を達成しており、生活排水処理の改善に十分寄与したと考えられる。高齢者世帯の増加や経済情勢が厳しい状況ではあるが、今後も引き続き、浄化槽整備の更なる普及に努めていただきたい。